

北朝鮮のミサイルに どのように対抗すべきか？

Февраль Март Апрель Май Июнь Июль

日本の「脳内パラダイス国会議員」たちが「森友」だ、「加計」だ、とバカな国会審議を続けているうちに、北朝鮮のミサイルは日本を通過し太平洋に落下した。

北海道の襟裳岬から1180キロ地点の太平洋。

米軍基地のあるグアムへ4発のミサイルの同時発射を予告していた北朝鮮の「刈上げクン」に日米はまんまと騙された格好だ。

しかし、悪い事だけではない。

「Jアラート」の不備が判明したこと。

さらに、「北朝鮮の言うことを真に受けたいけない」ということが分かった。

もう一つ、日本の上空を飛来するミサイルを打ち落とす能力を我が自衛隊は持っていない、ということがはっきりした。

そのかわり、政府は「物陰に隠れて両手で頭を抱えてうずくまれ」というのだから、日本国民は政府から全く守られていない、ことが明らかとなった。

不思議なのはこの期に及んで、日本では「私たち国民の生命、財産を守ってください」という声が上がらないことだ。マスコミは報道すべき使命を果たしていない。



日本国民は「一億自殺願望」の塊か？日本人らしく「潔い」のは良いが、せめて「刺し違える」くらいの覚悟をみせてほしい。北朝鮮は「核弾頭ミサイル」を打つとは限らない。

核弾頭の代わりに、「細菌兵器」「サリンなどの毒ガス」を弾頭部分に入れるかもしれない。

そうなれば、「物陰に隠れて両手で頭を抱えてうずくまって」もまったく意味はない。



海上保安庁 日本のEEZ内侵入の 北朝鮮違法漁船 820隻に警告

「するめイカ」が不漁で魚屋さんの店先から消えてしまった。海水温の影響か？それとも、中国の乱獲か？

イカの漁獲量は年々減少。

これは水産庁がまとめた10年間のスルメイカの漁獲量ですが、かつては全国で20万トン近く捕れていたスルメイカが、2012年には15万トン、おととしは11万トン、そして去年は4万トンにまで激減した。

一体どうして、スルメイカが不漁になったのか？



すると、いた、いた、 格好の批難対象が…?!

日本の排他的経済水域（EEZ）にある日本海の「大和堆（やまとたい）」周辺での北朝鮮漁船による違法操業を発見!!。

海上保安庁は7月上旬に巡視船を派遣し、延べ約820隻に警告。EEZ外に排除したと発表。

以来、現場海域では8月中旬以降に北朝鮮漁船はほとんど確認されなくなったという。尖閣諸島を領海侵犯する中国と違って北朝鮮の漁船が比較的海上保安庁の指示に従うのは、15年前に北朝鮮の不審船を海上保安庁が追跡して沈没させたことがあったからだろう。

大和堆は男鹿半島から西に約400キロで、水深が1000メートルより浅くなっ

ている日本海有数の好漁場。春と秋にはスルメイカがとれ、昨秋から多くの北朝鮮船が集まるようになった。

海保は昨年も航空機を派遣して現場海域を監視。今年の哨戒では早い時期から状況の悪化が確認されたため、日本漁船の安全確保と違法操業への対応が必要と判断した。7月上旬から大型巡視船を含む複数の巡視船を派遣して、水産庁とともに取り締まりに当たっていた。

現場海域では当初、1日50隻から百数十隻の北朝鮮船を確認。巡視船の船外スピーカーや船体の電光掲示板でEEZ外に退去するよう勧告し、汽笛や指向性が高い長距離音響発生装置(LRAD)に

よる大音響の警告を実施した。

また、複数の巡視船で取り囲んで威圧したほか、退去警告に従わない場合は巡視船に設置した放水銃の放水で移動させるなどした。今回の派遣でEEZ漁業法違反での北朝鮮船の摘発はなく、放水による沈没などもなかった。

海保は、現場海域を管轄する第9管区海上保安本部(新潟市)だけでなく、第2管区(宮城県塩釜市)、第7管区(福岡県北九州市)、第8管区(京都府舞鶴市)など全国から巡視船を出動させた。9月以降も水産庁と連携して適切に対応している。



大和堆周辺で北朝鮮漁船に放水する海上保安庁の巡視船